



## ○ 第三学期始業式(1月8日(火))

穏やかな新年を迎え、1/8(火)に学校も始動しました。校長挨拶では、今年の箱根駅伝総合第2位だった青山学院大学の原晋監督の「柿の木大作戦」を用いて目標設定の方法について話をしました。少し頑張れば達成できる目標を立てクリアすれば次の目標を設定する。これが続いていると成功体験を積み重ねることになり、自分で考えること、工夫することが楽しくなってくる。そして、最後には大きな目標を達成することができるのです。年の初めに、各自、具体的な目標を立て、しっかりと取り組んでください。

## ○ 大学入試センター事前説明会(1月16日(水) 5限 於:食堂)

受験生 100 名余りが集まり、受験上の注意事項等を進路指導部の先生方から話をしていただき、第3学年団からは、激励の言葉をかけてもらいました。

私から、「受験は勢い！強気で2日間を乗り切ること。最後の1秒まで、気を抜かずやりぬくこと。」と述べると、受験生からは、熱いやる気が伝わってきました。



## ○ 阪神・淡路大震災の日(1月17日(木))

朝の SHR で、校内放送によって話をし、犠牲になられた多くの霊を慰め、この震災のことを忘れないために、黙祷を捧げました。

話の中で、震災当時2年生だった10回生の卒業文集の文章を紹介しました。

「震災から1年たちましたが、街の風景には震災の傷跡が、まだまだ残っています。時間が経ち、街が復興したとしても、失われたものすべてを取り戻すことは不可能です。これから1月17日が限りなく繰り返され、神戸の街に笑顔が戻ってきたとしても1995年1月17日の震災を忘れてはならないのです。とりもどせないものがあるのだから・・・」

今を生きている皆さんは、この震災を知らないかもしれませんが、街が復興し、普通の生活ができていることに感謝するとともに、この震災で得た、「命の大切さを実感し、平凡な日常がどれほどありがたいことなのか」、「共に協力し、助け合って生きていくことが我々にとって不可欠であり基本であること」を胸に刻むとともに、そのことを語りついでいかねばならないのです。